

V 緊急時の対応

1 緊急時の判断と対応

症状が出始めてから走ったり、激しく動き回ったりすると、症状が急激に悪化する危険性があります。局所的なじんましんなど軽い症状が現れた場合でも、じんましんが消えるまでは保健室で休ませるなど、慎重な対応をとる必要があります。

また、対応する教職員が交代する場合には経過や現状を確実に伝え、食物アレルギーによる症状が完全に消えるまで観察を続けます。

軽い症状であっても、食物アレルギーによる症状が現れた児童生徒を一人で帰宅させてはいけません。症状が落ち着いた後にもう一度症状が現れる（「二相性反応」といわれる。）場合があります。

Q.81 食物アレルギーを有する児童生徒が、体調の変化を訴えた場合はどうしますか？

A.81 食物アレルギー症状は、軽いじんましんから、気管支ぜん息やアナフィラキシーのように緊急の対応を要するものまで幅広くあります。いずれの場合も、常に食物アレルギーによる症状である可能性を考えて観察し、アナフィラキシー症状に対しては迅速に対応します。

P 3、59-64 参照

Q.82 食物アレルギー症状が現れたら、基本的な対応はどのようにするとよいですか？

A.82 食物アレルギー症状が現れたら、危機管理マニュアル（食物アレルギー）の学校内での役割分担に従い各教職員が対応します。保護者との連絡がとれない場合でも適切な対応ができるように、薬の服用やエピペン®を使用するタイミングについて、事前に保護者と共通理解を図り「個別の取組プラン」及び「緊急時個別対応マニュアル」に明記しておきます。

P 59-64参照

Q.83 エピペン®が処方されている児童生徒に、食物アレルギーの症状が現れた場合はどうしたらよいですか？

A.83 軽い症状であっても本人の手元にエピペン®を準備し、必要になったらすぐに使用できるよう、本人と教職員で使い方の確認をしておきます。

緊急性が高いアレルギー症状が一つでもあれば、エピペン®を使用します。

また、アナフィラキシーショックを疑う場合もエピペン®を使用します。

呼びかけに反応がなく、普段通りの呼吸がなければただちにAEDで心肺蘇生を開始します。

なお、エピペン®を使用した場合は、必ず救急車で医療機関へ搬送します。

P 59-64参照

Q.84

エピペン®は誰が打つのですか？

A.84

エピペン®は本人又は保護者が注射する目的で作られたもので、注射の方法やタイミングは医師から処方される際に十分な指導を受けています。

しかし、アナフィラキシーの進行は一般的に急速であり、エピペン®が手元にあるながら症状によっては児童生徒が自己注射できない場合も想定されます。

児童生徒がアナフィラキシーショックに陥り生命が危険な状態である場合に、その現場に居合わせた教職員がエピペン®を本人に代わって注射する場合について、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」（文部科学省監修・公益財団法人日本学校保健会発行）において示している内容に即して行うことは認められています。（医師法違反とはなりません。）

エピペン®の保管場所等については、事前に保護者と共通理解を図り「個別の取組プラン」及び「緊急時個別対応マニュアル」に明記しておきます。

〔エピペン®の保管方法〕

- ・光で分解されやすいため、携帯用ケースに収め、遮光した状態で保管します。
- ・15～30℃での保存が望ましいので、冷蔵庫や日光の当たる高温の場所には放置しないようにしましょう。

P 61 参照

Q.85

アレルギー症状に対して処方されている薬を早期に使用してもよいですか？

A.85

一般にアレルギー症状に対して処方されている薬（抗ヒスタミン薬、ステロイド薬、気管支拡張薬）は、早期に服用しても重大な副作用はないと考えてよいです。薬を服用させた後は安静にさせ、観察を続けます。薬を服用した後でも、緊急性の高い症状になった場合は、エピペン®を速やかに使用します。

P 4 参照

Q.86

食物アレルギーを有する児童生徒が、誤食した時にはどうするとよいですか？

A.86

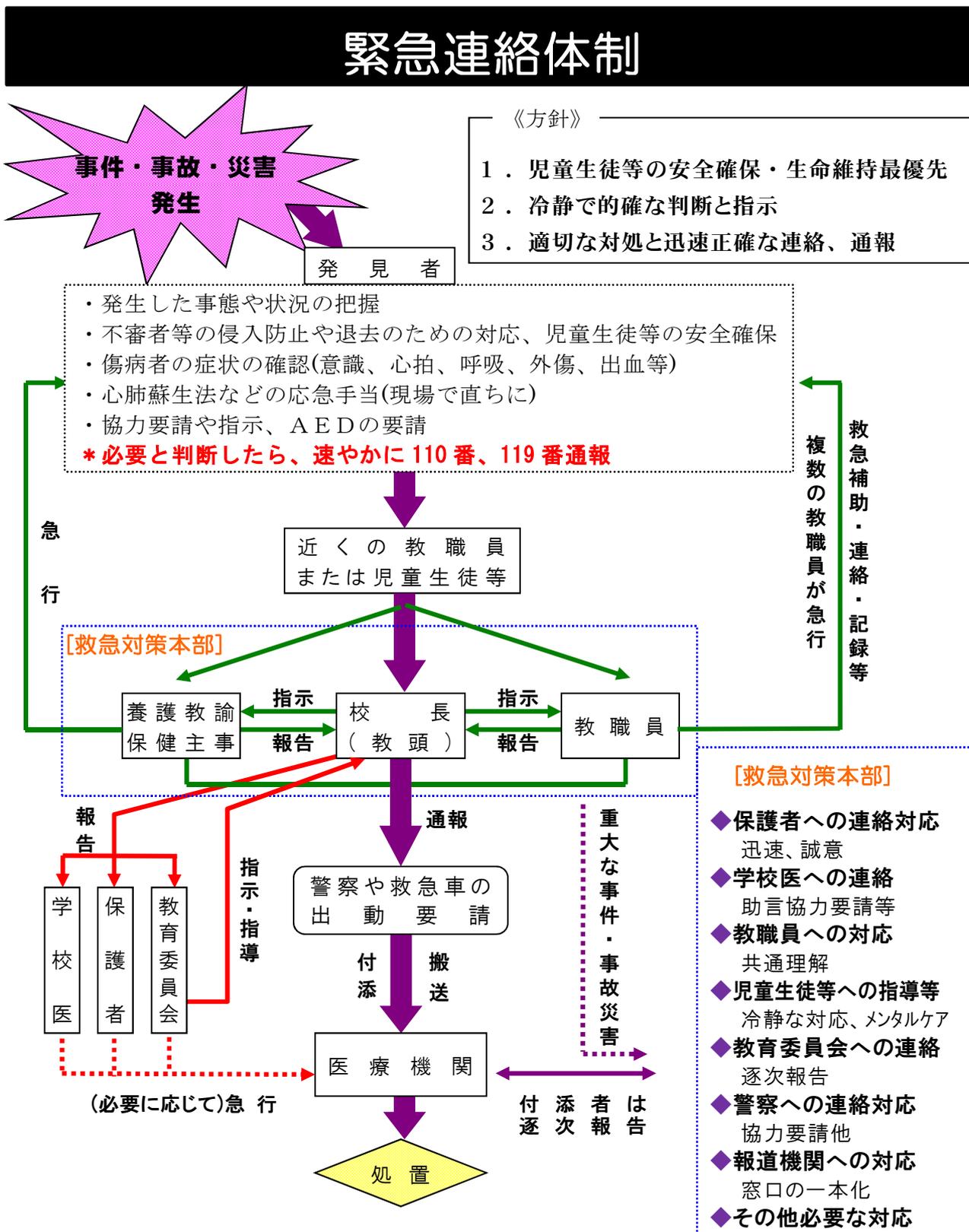
誤食した場合は、数分から4時間後まで、症状が現れる可能性を念頭に置いて、体調の変化を観察します。特に、過去に強い症状が現れた経験がある児童生徒の場合は、誤食が確認された時点で保護者に連絡します。誤食の事実が確認できない場合であっても、児童生徒が症状を訴えた時点で、食物アレルギーによる症状である可能性を考えた対応を行います。

P 59－64 参照

2 緊急時の対応のための体制づくり

アナフィラキシーは、非常に短時間のうちに重篤な状態に陥ることがあります。緊急時に適切な対応ができるよう、あらかじめ決めておいた救急及び緊急連絡体制に沿って、管理職のリーダーシップの下、全教職員が適切な役割を分担し、一丸となって対応できる体制を整備しておく必要があります。

<危機管理マニュアル例>

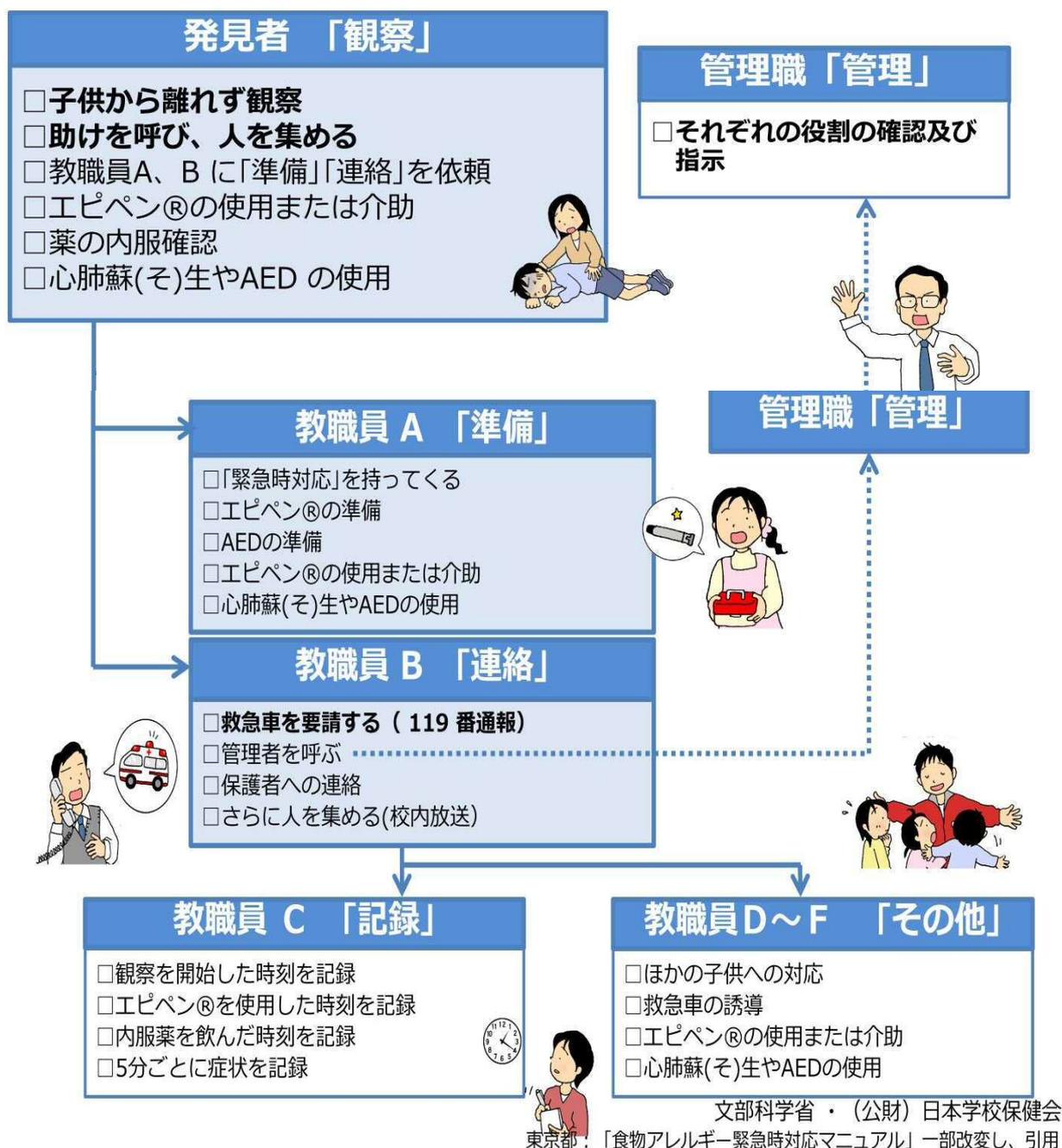


〈食物アレルギー対応〉

〈緊急時に適切な対応をするために〉

- 危機管理マニュアル(食物アレルギー)と緊急時個別対応マニュアルを作成すること
- 全ての教職員がマニュアルを理解し、役割分担ができるようにすること
- 定期的に緊急時対応の訓練(シミュレーション)をすること

学校内での役割分担



緊急時の判断と対応

発見者＝観察者

- ・ 子供から離れず観察
- ・ 助けを呼ぶ
- ・ 緊急性の判断
- ・ エピペン®、AEDを指示

アレルギー症状がある（食物の関与が疑われる）

原因食物を食べた（可能性を含む）

原因食物に触れた（可能性を含む）

呼びかけに反応がなく、呼吸がなければ、心肺蘇(そ)生を行う

<緊急性が高いアレルギー症状>

全身の症状

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくい
- 唇や爪が青白い

呼吸器の症状

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるようなせき
- 息がしにくい
- 持続する強いせき込み
- ぜーぜーする呼吸（ぜん息発作と区別できない場合を含む）

消化器の症状

- 我慢できない腹痛
- 繰り返し吐き続ける



一つでもあれば

緊急性が高いアレルギー症状があるか、5分以内に判断

東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用

文部科学省・（公財）日本学校保健会

緊急性が高いアレルギー症状への対応

チームワークが大切

- ・ 救急車を要請（119番通報）
- ・ ただちにエピペン®を使用
- ・ 反応がなく呼吸がなければ、心肺蘇(そ)生を行う ➡ AEDの使用
- ・ その場で安静にする **立たせたり、歩かせたりしない！**

<安静を保つ体位>

ぐったり、意識もうろうの場合



血圧が低下している可能性があるため、あお向けで足を15～30cm高くする

吐き気、おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、体と顔を横に向ける

呼吸が苦しくあお向けになれない場合



呼吸を楽にするため、上半身を起こし後によりかからせる

- ・ その場で救急隊を待つ

文部科学省・（公財）日本学校保健会

東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用

エピペン®の使い方

◆それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開け
エピペン®を取り出す

② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを
下に向け、利き手で持つ

“グー”で握る!

③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す

④ 太ももに注射する



太ももの外側に、エピペン®の先端
(オレンジ色の部分)を軽くあて、
“カチッ”と音がするまで強く押し
あてそのまま5つ数える

**注射した後すぐに抜かない!
押しつけたまま5つ数える!**

⑤ 確認する



使用前 使用後

エピペン®を太ももから離しオレ
ンジ色のニードルカバーが伸び
ているか確認する

伸びていない場合は「④に戻る」

⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、
マッサージする

介助者がいる場合



介助者は、子供の太ももの付け根と膝を
しっかり抑え、動かないように固定する

注射する部位

- 衣類の上から、打つことができる
- 太ももの付け根と膝の中央部で、かつ真ん中 (A) よりやや外側に注射する

仰向けの場合

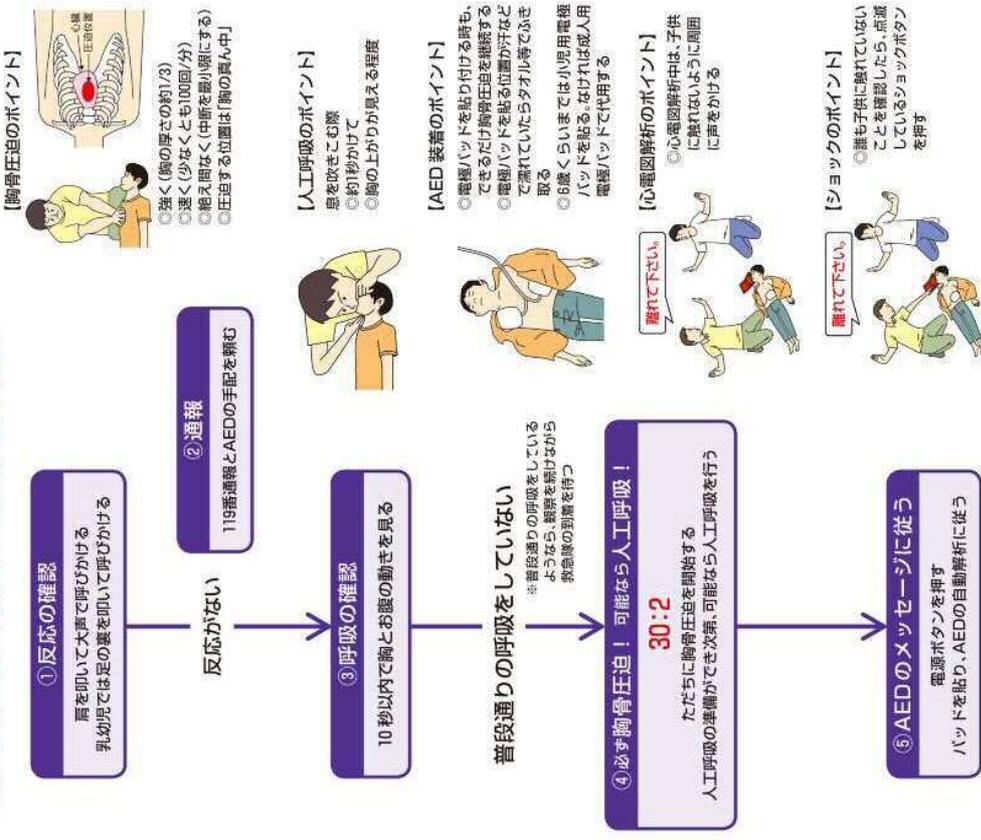


座位の場合



心肺蘇生とAEDの手順

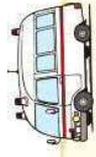
- ◆ 強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を！
- ◆ 救急隊に引き継ぐまで、または子供に普段通りの呼吸の呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける



東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」引用

救急要請(119番通報)のポイント

◆ あわてず、ゆっくり、正確に情報を伝える



① 救急であることを伝える

119番、火事ですか？ 救急ですか？
救急です。

② 救急車に来てほしい住所を伝える

住所はどこですか？
区(市町村)○町
丁目○番○号
○保育園
(幼稚園、学校名)です。

住所、施設名をあらかじめ記載しておく

③ 【いつ、だれが、どうして、現在どのような状態なのか】をわかる範囲で伝える

エビベン®の処方やエビベン®の使用の有無を伝える

5歳の男児が給食を食べたあと、呼吸が苦しいと言っています。

④ 通報している人の氏名と連絡先を伝える

119番通報後も連絡可能な電話番号を伝える

あなたの名前と連絡先を教えてください
私の名前は
○×□美です。
電話番号は…

※ 向かっている救急隊から、その後の状態確認等のため電話がかかってくる可能性がある
 ・ 通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく
 ・ その際、救急隊が到着するまでの応急手当の方法などを必要に応じて聞く

東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」引用

緊急時個別対応マニュアル

__年__組 男・女 氏名__原因食品（__）

●**緊急時薬** 〈保管場所__〉

分類	薬剤名	使うべき症状	使い方
抗ヒスタミン薬		じんましん・かゆみ・紅斑	内服
ステロイド		症状が続くとき	内服
気管支拡張薬		咳・ゼーゼー・息苦しさ	内服・吸入

●**エピペン®**

あり 〈保管場所__〉 ・ 保護者所持 ・ 処方なし

●**連絡先**

保護者	TEL ()	—	氏名	(続柄)
	TEL ()	—	氏名	(続柄)
医療機関	TEL ()	—	病院名	(医師)
	TEL ()	—	病院名	(医師)

症状チェック!

__時__分

全身

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便をもらす
- 脈をふれにくい、不規則
- 唇や爪が青白い

(__時__分)

①体温 __℃

②脈 __回/分(不正 有・無)

③呼吸数 __回/分

④血圧 最高 __ / 最低 __

児童生徒の
顔写真

呼吸器

- のどや胸のしめつけ感
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 息がしにくい
- 持続する強いせき込み
- ゼーゼーする呼吸

(__時__分)

数回の軽い咳

(__時__分)

消化器

- 持続する強い(我慢できない)おなかの痛み
- 繰り返し吐き続ける

(__時__分)

中等度のおなかの痛み

1~2回のおう吐

1~2回の下痢

(__時__分)

軽なおなかの痛み

(我慢できる)

吐き気

(__時__分)

**上記の症状が
1つでもあてはまる場合**

顔全体の腫れ

まぶたの腫れ

(__時__分)

目のかゆみ・充血

口の中の違和感・腫れ

くしゃみ・鼻水・鼻づまり

(__時__分)

**上記の症状が
1つでもあてはまる場合**

強いかゆみ

全身に広がるじんましん

全身が真っ赤

(__時__分)

軽度のかゆみ

数個のじんましん

部分的な赤み

(__時__分)

**上記の症状が
1つでもあてはまる場合**

1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

① エピペン使用

② 救急車要請

③ ショック体位

④ 心肺停止?

→心肺蘇生・AED

① 保健室へ運ぶ(歩かせない)

② 緊急時薬使用

③ エピペン準備

④ 医療機関へ(救急車考慮)

① 保健室で経過観察

② 緊急時薬使用

③ 保護者に連絡

参考：東京都「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」
名古屋市「アレルギー緊急時対応マニュアル」

- 64 -